

## 【2018年度 学修成果に関する「卒業時アンケート」結果の講評】

## 【幼児教育学科】

設問	講評	課題	備考	
問2	1) 建学の精神「真心・努力・奉仕・感謝」を意識した行動ができましたか。	「できた」と答えた学生が 78.35 と多く、日ごろの指導や実習の成果である。	建学の精神と保育者の資質と共通していることが多い。日頃から意識した行動が身に付けるようにする。	
	2) 文章理解・コミュニケーションスキル・情報処理スキル等が身についたと思いますか。	実習の成果が大きく影響しているのではないかとされる。	もう少し非常にできたが増えるよう指導していく	
	3) 学んだ知識等を活用して、課題を解決する力が身につきましたか。	まあまあの評価である。実習という社会の中で授業での知識が活かされたと考える。	色々な物事を深く考えることができるようにして課題解決力をもう少しつけるように努力する必要がある。	9割以上身についた。
	4) 教養科目（基礎科目）における知識の修得と理解ができましたか。	まあまあの評価である。実習において活かされた結果と考える。	非常にできたが少ない。修得したかどうかの自己評価が難しいと感じているのではないだろうか。自覚し自身につなげていく。	9割以上理解できた。
	5) チームワークを意識した行動ができましたか。	「こどもまつり」や各教科でのグループワーク等での継続的な取り組みの中で培われたのではないかとされる。	保育者として働くために重要な項目であり、チームワークの必然性を意識して取り組めるように働きかける。	チームワークに強い。9割以上。
	6) 専門的な知識や技術・技能の修得ができましたか。	ピアノコンサート、まるカード、幼児学ゼミ活動等得意な分野を確認、発揮できる機会があることが大きいと思われる。	現場に出てから初めて修得できたことが自覚できることと思う。修得したことを活用できるまでに結び付けていく。	9割以上身につく活用できる。
問3	学習に対する成績評価は満足できるものでしたか。	概ね良い評価であると思われる。	各教科で成績評価方法を具体的に説明するように努める。	
問4	2年間の学修が就職活動に有用でしたか。	細かい実習指導、問題が起きた時の対応の速さが良いと思われる。	非常にできたがもっと多くなるように就職を意識した学修に努めたい。	9割以上有用で就活に強い。
問5	就職活動は、自ら進んで活動（行動）できましたか。	自ら進んで園見学やボランティアなどをキャリア授業や指導教員の声掛けで促していることが結果につながった。	あまりできなかったが2割近くあるので、意識付けに努める。	
問7	卒業に向けて当初の目標が達成できましたか。	6%の学生が「できなかった」という結果であったが多くの学生の評価は良い結果であった。	わずかではあるが、目標達成ができなかったという結果に対しては、個々の目標をしっかりと汲み取るようにしていく。	9割以上目標達成。
問8	2年を振り返って成長できましたか。	多くの学生が「できた」[「非常にできた」との評価で良い結果であった。	卒業して現場に出ないと成長を実感できないかもしれないところであるが、現段階では成長を自覚できている。今後の成長は自分で一つ一つ自覚していけるように送り出していく。	97%が成長できた。ほぼ全員が成長できたと満足。